

今後の課題に係る意見交換（主な論点）

★ 学校教育段階からのキャリア形成に係る学びの充実

女性活躍加速のための重点方針 2018（抜粋）

（平成 30 年 6 月 12 日すべての女性が輝く社会づくり本部決定）

若者が男女共同参画の視点に立って、自らの将来の職業や様々なライフイベント、社会において果たす役割等を含めたライフキャリアについて考える機会を充実させるよう、小学校から大学までの各学校段階それぞれの発達段階を踏まえ、学校現場等において活用できる教育プログラムの開発等の取組を推進する。

- 高校生・大学生向けのライフプランニング教育のプログラム開発について、現在概算要求中。高校生向けプログラムは教育委員会が中心となって福祉部局等との連携により開発、大学生向けプログラムは大学が多様な主体（企業、NPO等）との連携により開発する体制を想定。学内のみならず多様な外部講師と連携して講義を展開。プログラム設計にあたっては、調整役としてコーディネーターの配置を想定。

→現状の課題を踏まえた新プログラムの開発に必要な視点とは。

① 開発するモデルプログラムに必要な要素とは

※望ましいプログラム展開例（特に高校生や大学生の意識を変えるために必要なこと（体験等の組み込み方））

※外部講師に求める要件（属性）や活動内容

※最適な時間数、効果を把握するための指標の在り方

② 開発するモデルプログラムの成果物と普及方法とは

※望ましい成果物（＝モデルプログラム）の内容について

（例．活用しやすい教材例、ワークシート、講義資料等）

※普及にあたって留意すべきこと（啓発ツールの開発等）

③ その他

※ライフプランニング教育に関する先進事例

※教材「高校生のライフプランニング」（参考資料 4）の普及・活用方法 等